

平成 27 年度司文庫基金運営委員会 会議要録

■開催日時 平成 27 年 10 月 1 日（木） 午前 10 時 30 分～11 時

■開催場所 中央図書館 3 階 第 2 会議室

■出席委員（5 名）

大竹慶子委員、酒井敏子委員、佐藤淑乃委員、杉浦由美委員、吉田典子委員

■事務局（8 名）

（美術博物館）三世副館長兼事務長

（図 書 館）天野館長、河合主幹、荒川館長補佐、岡田専門員、菰田主査、
岩瀬主査、富田

■議事概要

1. 開会
2. 図書館長あいさつ
3. 議題
 - （1） 委員長、副委員長の選出について
 - （2） 平成 26 年度事業報告について
 - （3） 平成 27 年度事業について
 - （4） その他

■発言要旨

（事務局）

正副委員長が決まるまで、事務局が議事を進めます。会議を公開します。会議録作成のため、録音をします。

<図書館長あいさつ>

<委員及び職員各自自己紹介>

（事務局）

豊橋市司文庫基金運営委員会要綱第 5 条第 1 項（委員の互選による委員長及び副委員長を置く）に基づき、選出をお願いします。

（委員）

委員長に吉田典子委員を、副委員長に大竹慶子委員を推薦します。

<全員異議なし>

(事務局)

平成27年度豊橋市司文庫基金運営委員会の委員長を吉田典子委員に、副委員長を大竹慶子委員に決定しました。議題(2)以降の進行は、委員長をお願いします。

(委員長)

議題(2)の「平成26年度事業報告」について、事務局に説明をお願いします。

＜事務局が、資料に沿って説明＞

(委員長)

この件について質問等、ありますか？

(委員)

大清水図書館に司文庫のコーナーはありますか？

(事務局)

司文庫という文庫なので、分館で分けて置くよりは、1箇所に設置して保管し管理した方がよいと思われます。しかし、多くの方に司文庫を知っていただけるように、PRをしっかりとしていきたいと考えています。

(委員)

平成26年度に購入した、文化のわかる紙芝居のような身近に感じられるような資料はいいと思います。読み聞かせに利用していただいたらどうでしょうか。

(委員)

授業・学習支援センターを通して、学校へも貸出しを行っているようなので、外国籍の児童・生徒も利用できていいと思います。また、専門書もいいけれど、基礎やきっかけとなるような一般書も購入したら良いと思います。

(委員)

外国の方でもわかりやすい、日本の(文化がわかるように)本の英語版もあると役に立つと思います。

(事務局)

外国籍の方が多く住んでいらっしゃる校区市民館に、ポルトガル語の本を多く配本するようにしています。また、予算の範囲内で原語を検討しながら、配本していきたいと思っています。

(委員)

学校内で、司文庫の本を読み聞かせなどで利用していきたいと考えています。

(委員長)

議題（３）の平成２７年事業について説明をお願いします。

＜事務局が、資料に沿って説明＞

(委員)

ユネスコ記憶遺産の登録候補になった「杉原千畝」に関する資料を選書に加えてはどうでしょうか。

(委員)

豊橋市内では、外国との姉妹提携都市がいくつかあります。その管理団体などと協力して、司文庫の事業ができるといいと思います。

(委員)

図書館のネットワーク館に、司文庫の本を置くのはいいPRにつながると思います。一般書でもいいので、親しみのある本の原書があるといいと思います。著名な作品、古典ばかりではなく、人気のある作品も購入の対象にすれば利用も増えるのではないのでしょうか？

(事務局)

ネットワーク館などに、テーマに沿ったセット本の貸出しを行っています。そのようなセット本に、司文庫も加えることができるか検討します。

(委員)

P T A総会など、集会がある時にはチラシを配布したりして、子どもだけではなく親にもPRしてより多くの方に周知してもらえるようにしてください。

(事務局)

今年度は、試験的に行います。図書館から幼稚園へ協力を依頼しました。

(委員)

すべての幼稚園でもやってほしいです。専門家がいて、図書館以外で読み聞かせができるような体制がとれるといいです。

(委員)

以前と比較すれば、司文庫の利用がかなり広がりを感じます。これからも、いろいろ

な形で利用を広げていくことが大切だと思います。

(委員)

学校でも、教師にも周知を広げていきます。

(委員)

聴覚資料が付録についている本も必要だと思います。耳から聞くことも大事だと思います。

(事務局)

C DやD V Dが本の付録についているものはあります。ただ、図書館内で音を流すことはできません。1 階の情報コーナーで聴くことは可能です。また、貸出しをすることができる本もあります。

(委員)

自分に合った本に出合えることで、人生が変わるかもしれません。本と出会えるきっかけや思い出をたくさん作ってあげられたらいいと思います。

(委員)

保育園・幼稚園の読み聞かせは、職員で行っていますか？

(事務局)

職員だけではなく、司文庫えほん読み聞かせの会のボランティアの協力で行っています。

(委員)

保育園や幼稚園でも英語教育を行っているところがあるので、職員が行かなくても、本を貸出しだけでもいいのではないかと思います。

(委員長)

ほかに質問等がありますか？

<質問なし>

(委員長)

これで、平成 2 7 年度司文庫基金運営委員会を終了します。